

令和7年度 第4回和知地区京丹波町立小中学校のあり方検討委員会 議事録

1 開催日時 令和7年10月22日(水) 午後7時00分～午後9時20分

2 開催場所 京丹波町役場 1階 防災会議室

3 出席者 (1) 構成員 10名

松本和久教育長、井戸仁委員、河谷尚都委員、原田美希委員、
才村路子委員、大田有次委員、春田貢委員、早川公雄委員、
川中愛映委員、森瀧ひろ香委員

(2) 事務局 6名

・教育委員会

岡本教育次長、四方学校教育課長、長尾総括指導主事、
野口学校教育係長

・和知小学校

梅原校長

・和知中学校

船越校長

(3) 説明者 1名

・教育委員会

東指導主事

4 傍聴者 1名

5 会議の大要

(1) 会長あいさつ

【会長】一気に涼しくなって、体調が気になる季節になったと思います。学校では運動会、体育祭それから文化祭も行われている頃かと思います。また先日、竹野地域では非常に盛大なお祭りがあったと聞いています。参加できなかったのがちょっと残念ではありましたが、すごく伝統的なお祭りで町の無形文化財にも指定されているみたいですね。そういったイベントがたくさん町内の中では行われてるんじゃないかと思ってます。

恵の秋ですので、黒枝豆も今ちょうど良い時期になりました。皆さんもおそらく食されてるんじゃないかなと思います。

このような良い時期になりましたが、この検討委員会の方でも佳境を迎えていると言いますか、ちょうど中心的な話がどんどん進められているときかなと思

います。今日はさらに話を進めていき、そしてワークショップでも意見を交流して、これからの方向性を示していきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 教育長あいさつ

【教育長】 あり方検討委員の皆様には、大変お忙しい中、第4回の検討委員会にご参加をいただきまして、心よりお礼を申し上げます。今、会長からもありましたように、学校では運動会、体育祭といった体育的な行事がほぼ終わりました。これからは学習発表会、文化祭といった行事が行われる時期を迎えます。学校にとっては1年間の中でも、学びの成果を多くの皆さんに見ていただく、そういった時期を迎えています。それに関わりまして、特に和知小中学校のトピックスを二つほどご紹介をさせていただきます。

一つは、10月の初めに和知の小中学校の運動会体育祭は、昨年度から合同開催のスポーツフェスティバルという名称で小学校と中学校が合同で開催をされました。この南丹管内でこういった形式で行っておりますのは亀岡の小中一貫校になっております川東学園と育親学園で、こちらについては小中学校が一緒ですから、このような形式で開催されています。それ以外で、小中学校の児童生徒と一緒に運動会体育祭を取り組んでいるのは和知だけであります。毎年行っておりまして、今年も見させていただきました。小学生と中学生が一緒になって、そしてまた保護者や地域の皆さんもたくさん来ていただいて、運動会体育祭としては非常に盛り上がりのある素晴らしい運動会体育祭になったなと思っております。まだケーブルテレビでは紹介されていないかと思うんですが、まもなく紹介されるかと思っております。是非、注目していただきたいと思っております。二つ目のトピックスは、この土曜日と日曜日の25日、26日に南丹管内の亀岡、南丹、京丹波の小中学校、それから高校を含めた、美術作品展が開かれております。京都丹波美術工芸教育展という名称で実施をされております。土曜日に結果の発表も含めてありますので、教育委員会の方に美術展の入選作品についての内示をいただきました。少しそれを報告します。小学校は南丹管内に28校ございます。そして中学校は15校です。義務教育学校はそれぞれ小学と中学に分けてあります。この小学校28校のうち、特選と呼ばれている極めて優れた作品は17点毎年選ばれます。その17点のうちの第一席にあたりますが、京都府知事賞です。知事賞は2点しかありませんが、そのうち1点が和知小学校なんです。さらに先ほど特選は17点あると申しましたが、その17点のうち、実は3点が和知小学校なんです。小学校28校の全部の学校が出展しております。出展数は学校規模に応じて、実は出展できる数に制限が設けられていますので、和知は比較的規模の小さい学校ですから、出展数としては少ないですが、入賞率はとても高いということです。また、中学校15校の特選と呼ばれている作品は10点ございます。中学校においても第一席は知

事賞で2点選ばれております。そのうち1点は和知中学校から選ばれております。なぜ、この和知小学校、和知中学校の入選率が高いのか。と申しますと、おそらく和知の小中連携で、中学校の教員が小学校に出向いて、中学の美術による小学校高学年の指導を長年続けていただいております。その成果だと感じています。このように小中連携の中で学びの成果が上がっている一つの例かなどそのように思いまして、ご紹介をさせていただきます。25日、26日に園部の伝統工芸大学校を会場に開催されます。もし、機会があれば見ていただけたらと思います。

今日は4回目ということで、先ほどありましたように佳境に入っております。様々な視点からご意見をいただきまして、そろそろ方向性も見定めていただくそういう時期が近づいております。今晚もどうぞよろしく願いいたします。

(3) 議事事項

ア 第3回検討委員会における意見を踏まえた資料等について

①～③について、事務局から説明を行った。

①他市町村の部活動拠点校方式の状況について（東指導主事説明）

②文部科学省の資料について【資料－1 ①～②】（岡本教育次長説明）

③和知中学校におけるキャリア教育の概要について【資料－2】（和知中学校船越校長説明）

○事務局からの説明について意見・質問なし。

イ 交流協議<ワークショップ>

テーマ「中学校が統合した場合、和知の小中学生にどのような効果や影響が考えられるか」
資料－3について、事務局から説明を行った。（四方学校教育課長説明）

○ワークショップでの主な意見は別紙の通り。

【Aグループまとめ】発表者：川中委員

メリットは広く3地区の良いところを学べ、伝統文化に触れることが出来る。新しい気づきや刺激に触れることが出来る。

デメリットは集団への戸惑い。和知の地域の良さや和知資源を生かした和知ゼミは素晴らしい。みんなが和知を知っている。そんな中、中学校が統合した場合、和知の良さが薄れるのではないかと。伝統文化の継承が難しくなるのではないかと。地域の良さを感じることに、地域の中に小学生、中学生が居てくれることが大切。須知高校と連携したキャリア教育もはかれる。通学時間の課題もある。山口市学園構想も参考に、デメリットをメリットに変えることが出来ないかと。

【Bグループまとめ】発表者：大田副会長

統合することによって、クラス替えがあつたり多人数のスポーツができたりなど、お互いに刺激し合うところにメリットがある。

一方で和知地区の小中連携の中で取り組まれている中学校の先生が小学校で指導されたりとか、和知ゼミであつたりとか、また地域との取り組み、伝統文化の継承だつたり非常に魅力的な部分がたくさんある。

あと、小学校の学びや体験のデメリットのところでは「小規模で慣れているので初めは戸惑う」とか「スタートがうまくきれるか心配」とか「新たな環境になじめない子がでる可能性がある」とか、これはその環境の中で子どもたちが成長せざるを得ない部分です。むしろメリットではないかという意見もありました。

ウ 今後のスケジュール（案）について

資料－４について、事務局から説明を行った。（四方学校教育課長説明）

○事務局からの説明について質問

【委員】保護者および地域からの意見聴取というのは、和知地区に限ることですかね。

わちこども園に通う下山地区の保護者の方が下山小学校区だったら、将来どうなるのって、和知地区はこの検討委員会で議論されているけど、どういう感じなのみたいな意見がありまして、和知だけの問題ではないなっていう印象を受けました。

なので、この意見聴取というのは、和知だけに限っていただくものなのか、京丹波町でいただくものなのか、どうなのかなというのが気になりました。

あと、わちこども園のこれから小学校中学校に入る方の意見も重要だと思うので、委員の中にでもいらっしゃったらよかったかなって今となってはですが、個人的に思っております。

【事務局】まず、この保護者および地域への説明については、今回は和知小中学校のあり方検討ということでお世話になっておりまして、現時点では和知地区の方を対象とした説明ということで進めさせていただいております。

そして、わちこども園に通っておられる方がこれから和知小学校へということですが、確かに今日の国の資料の方でも就学前のお子さんをお持ちの保護者の方への意見などもというような件もありましたので、どういう形でちょっと汲み取れるのかということはあると思いますが、ご意見を参考にさせていただきたいと思っております。

(4) その他・事務連絡・第5回委員会の日程について

次回12月18日(木) 午後7時30分

京丹波町役場 本庁舎 防災会議室

(5) 閉会あいさつ

【副会長】 本日は第4回の検討委員会ということで、長時間にわたりましてワークショップなど、非常に有意義な議論をしていただいたのではないかなと思ってます。新しいスケジュールも提案いただきまして、保護者および地域への説明会ということを入れていただいて、これ見てちょっとほっとしております。中学校も前にアンケートを取られたと思いますが、中学校統合と小中一貫と意見が半分ずつで、また全ての保護者からの回答ではなかったということで、この議論にあたっては保護者の思い抜きにはやっぱり考えられないのかなと思いますので、そういった意味でこの意見聴取というのは非常に大事なのかなと思います。今日も国の方から出されてるいろんな資料を拝見していますと学校は一定の規模を確保することが重要だとか、小規模なところについてはその地域の実情を加味しないといけないとか、あとは少子化の進んでる状況において中長期的な結論を先送りすることなく検討することが必要だとか、非常に難しいことがたくさん書いてあって、なおかつ、今日、議論した中でも小中一貫と統合とのどっちのメリットを見てもその板挟みになるような状況がありますが、この辺については我々ももっと考えていけないといけない部分と、保護者の皆様のご意見を尊重しながら検討する必要があるのかなと感じました。また、スケジュールで会議の内容も増えてきましたが、今後ともお世話になりますが、よろしく願いいたします。

[閉会：21時20分]